

地元の味！ くらしを大切にする店



主婦の店

## 赤穂民報

発行所

赤穂民報社

赤穂市加里屋駅前町58-18

TEL 43-1886

FAX 46-2626

編集長 広島秀紀

自然のあまさが  
うまさの秘訣！

赤穂化成株式会社

※オーストラリア産の天日塩とがりを原料とし、国内製造しています。

**40年で2559億円**  
**総面積26%減へ計画改訂**

赤穂市は、公共施設

と道路、水道などイン

フラ施設の維持管理に

ついて長期的な基本方

針となる「市公共施設

現存する公共施設

等総合管理計画」を改

訂。現存する公共施設

とインフラをすべて維

持した場合、大規模改

修や建て替えに今後40

年間で2559億円の

費用が発生すると試算

した。改訂計画では、

保有施設の総延床面積

を縮減する目標値を從

めた。施設の長寿命化も

正。施設の長寿命化も

図り、コスト削減を考

める考えだ。

市による市保有

の公共施設（庁舎や学

校、病院など）は今年

3月時点ですべて改修

（953棟）あり、総

延床面積は32万637

2平方㍍。10年後には

30年を超える施設が

達する。建築後30年で

大規模改修を実施し、

条件で建て替えを行う

後40年間で1258億

円かかる見込みだ。

これにインフラ施設

（道路や橋、上下水道）

の更新費用を加えると

平均すると毎年63・9

億円が必要となる計算

で、これは赤穂市が過

年平均で約11億円圧

縮する計画としている。

年平均で約10年先延ば

し、更新にかかる費用

を年平均で約11億円圧

縮する計画としている。

赤穂市は、縮減率

は、あくまでも現時点

での目標値であり、今

後も5年ごとに見直

し、適切な維持管理を

行っていく（契約管

理課）としている。

赤穂珠算振興会会員塾へ

積を26・2%縮減する

には、単純計算で市庁

舎約7・5個分に相当

する施設を減らす必要

がある。市は「縮減率

行っていく（契約管

理課）としている。

赤穂珠算振興会会員塾へ

積を26・2%縮減する

